

事務事業評価表(既存事業)

コード 4-1-3	事務事業名 男女平等参画推進フォーラム事業	所管部課 市民生活部生活文化課					
事務事業の概要	事務事業の目的 男女平等参画社会を実現するためには、一人ひとりが男女平等について理解する必要がある。そのために男女平等に関する情報の提供・発信を行う。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)男女平等参画社会の推進(創1-3) (主要施策)男女平等意識の啓発・普及					
	実施内容、実施方法 公募の市民実行委員会により、テーマを「人と違っていい 選んで生きる 女も男も」として、講演会・映画会・分科会を実施した。	根拠法令等 ・西東京市男女平等参画推進計画 ・西東京市男女平等参画推進フォーラム実施要領					
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 実施事業数	活動指標の考え方(定義) フォーラムの実施事業数 4(講演会・映画会・分科会2)					
	委員会開催回数	実行委員会を開催した回数					
	成果指標名 参加者数	成果指標の考え方(定義) フォーラムに参加した人数					
	新規参加率	フォーラムへ新規に参加した人の割合(アンケート回収した中の数値)					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)	千円	808	887	805	960	
	国庫支出金						
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		808	887	805	960	
	所要人員(B)	人	0.90	0.90	0.90	0.90	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	7,421	7,446	7,495	7,495	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	8,229	8,333	8,300	8,455	
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (実施事業数)	千円	2,057	2,083	2,075		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	事業				4
		実績値	事業	4	4		4
活動指標	目標値	回				15	
	実績値	回	20	24		20	
成果指標	目標値	人				1,050	
	実績値	人	360	440		234	
成果指標	目標値	%					
	実績値	%	31	33		39	
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	内容がとてよかっただけに、タイトルのつけ方、宣伝の方法をもっと学習すべき。もっと男女平等を広げるためには、若い人を実行委員に入れること。行政がもっと熱意・やる気を持つ事が大切。					
	国・都・他市・民間等における類似事業	国では男女共同参画社会づくりに向けての全国会議、都ではウイメンズフォーラムを実施し、26市中24市が、フォーラム、フェスティバル等として類似事業を実施している。					
	運営上の制約条件・外部要因等						

コード 4-1-3	事務事業名 男女平等参画推進フォーラム事業	所管部課 市民生活部生活文化課
--------------	--------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	参加した者にとっては好評だったが、全体の参加者数が減少していることを考えると、実績は不十分だったと考えられる。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	国は、男女共同参画社会の実現は21世紀の最重要課題とし、政府の諮問機関男女共同参画会議は、平成17年7月に男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の基本的な方向について(答申)の中で、目標の一つに男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革を目標に掲げている。市の男女平等参画推進計画でも男女平等に関する情報の提供・発信をし、男女平等の意識づくりを進める一つとして求められている。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	実行委員(6人のほかに、当日は協力員(10人)の協力を得て実施できた。また、準備と後片付けのパネルの運搬で生活文化系の職員1人に協力を得た。(係に車を運 転できる職員がいない) 実行委員の公募が少なく苦慮している。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	一部市民だけが参加するものではなく、多角的な内容と方法で実施している。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	参加者数が少なかったのには、市民からの指摘も一部あるかとは思ふ。また、若い人を実行委員にとあるが、実際は市民公募による実行委員会組織である委員の確保が難しい現状では市民参加のあり方に検討が必要。若い人が参加できるような構成およびタイトルのつけ方や宣伝方法等も、今後検討する。

17年度における改善点	実行委員会を見直すために、分科会を止めて、各団体・グループが行うワークショップ形式(市民持込企画)にし、参加する各団体・グループから選出された実行委員と、個人参加の実行委員で実行委員会を構成する。対象を絞った講演会や映画会などの検討をする。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。